墨田区観光特集

特別鼎談

すみだ北斎美術館 11月22日オープン

注目集まる墨田の観光

東武タワースカイツリー社長 **酒見　重範氏**

墨田区長 **山本　亨氏**

すみだ北斎美術館館長 **菊田　寛氏**

東京都墨田区に11月22日、「すみだ北斎美術館」がオープンする。世界でも人気が高い、葛飾北斎に特化した美術館だ。墨田区長の山本亨氏、東武タワースカイツリー社長の酒見重範氏、すみだ北斎美術館館長の菊田寛氏にお集まりいただき、同美術館への期待や区の観光魅力について語っていただいた。司会は本社編集長の内井高弘。（東武タワースカイツリー本社で）

北斎誕生の地に開館　菊田氏
北斎の精神を学んで　山本氏
力強い味方ができた　酒見氏

ユニークなデザインのすみだ北斎美術館

――すみだ北斎美術館の場所はどの辺ですか。

菊田　都営地下鉄大江戸線の両国駅から約400㍍の場所にある緑町公園に隣接しています。かつては弘前藩津軽家の大名屋敷があった場所で、藩主からの依頼で北斎が屏風に絵を描いたというエピソードも残っています。

東京スカイツリーから歩いて25分ほど。東京スカイツリーを見た後、ぶらぶらと街並みを散策しながら歩くのにいい距離です。建物は地上4階地下1階で、延べ床面積は約3300平方㍍。3～4階が展示スペースとなります。1階には図書室やミュージアムショップもあります。

葛飾北斎生誕の地である墨田区に作られる、世界的な絵師・北斎のための公共美術館で、「地域へ、世界へと北斎に関する情報を発信し、成長する美術館」

「常に新しいチャレンジを試みた北斎の精神を感じることができる美術館」を目指しています。

――開館記念は何を。

菊田　「北斎の帰還―幻の絵巻と名品コレクション―」を企画し、約130点の作品を展示する予定です。観覧料は企画展ごとに設定しますが、開館記念展は1200円（一般）です。常設展は一般で400円、団体が320円。初年度の来館者数は20万人を見込んでいます。

――区長はどう受け止めていますか。

山本　開館が楽しみで、私自身もワクワクします。区の文化芸術の一端を担う施設がいよいよ11月22日に開館します。多くの方に来館していただきたいと思いますが、特に、区の子どもたちが世界的な絵師の作品に触れ、北斎の精神を学んでほしいと思います。現代の北斎が生まれたらいいですね（笑い）。

また、単なる北斎の作品を展示するだけの施設ではなく、区としては新たな伝統工芸の表現の場としての使い方も考えていきたいと思っています。

■　■

――墨田区はモノづくりのイメージがありますが。

山本　江戸からの伝統を引き継ぐ職人さんも多く、確かにモノづくりの文化はありますね。私はそうしたモノづくりの文化も大事にしながら、国際文化観光都市を標榜しています。この美術館開館を機に、その実現に向けさまざまなプロモーションを展開していきます。例えば、消滅した墨田ゆかりの北斎作品を現代の技術を生かして復元し、そのプロセスを見ていただく企画など。

区は東京の中でも江戸の歴史・文化を色濃く残しています。これからは美術館、東京スカイツリーと連携して、区の魅力を広く知っていただけるよう以前にも増して取り組んでいくつもりです。

――下町の面影がある場所に、超近代的なタワー。その対比がいいですね。

酒見　東京スカイツリーは東京の観光のシンボルとして国内はもとより、世界各地から多くのお客さまが来ています。コンセプトは日本の伝統文化を最新の技術を通して引き継ぎ、発信するということ。すみだ北斎美術館は東京スカイツリーのコンセプトと全く同じ、力強い味方ができたと受け止めています。

――開業（2012年5月）からもう4年が経ちます。早いですね。

酒見　開業以来、多くのお客さまに足を運んでいただいていますが、今後は東京スカイツリー単独でお客さまを集めるのは限界があります。エリアで集客する仕組みが何より必要です。

区にはすみだ北斎美術館をはじめ、国技館や江戸東京博物館など大小さまざまな観光施設だけでなく、ちゃんこ鍋や向島の料亭など誇るべき食文化もある。モノづくりで発展した区ですが、観光や食のコンテンツをうまく生かし、区長の言う国際文化観光都市になるよう共に歩んでいきたいですね。

――菊田さんは区に対して何か要望はありますか。

菊田　区内循環バス（すみまるくん、すみりんちゃん）でスカイツリータウンから美術館の目の前まで行けることをPRしてほしいです。それと、区に対してということではないですが、東京スカイツリーと美術館を結ぶシャトルバスができればあり難いですね。

■　■

――区の観光客の入り込み状況はいかがですか。

山本　2015年の数字ですが、主要観光施設の入り込み客数は288万人、イベント来場者数は173万人。いずれも前年と比べ増加しています。東京スカイツリータウンには開業当初、年間4千万人を超える人が来ていましたが、今は3千万人ほどと聞いています。とはいえ、十分大きな数字です。

区の観光客増加の背景にはやはりスカイツリー効果があります。東京スカイツリーが建っていなかったらと思うとゾッとしますね（笑い）。

酒見　やはり数字は落ちてきています。15年は東京スカイツリーのみで約479万人、東京スカイツリータウン全体では約3360万人となっています。ちなみに、開業から今年6月までの累計来場者数は東京スカイツリーで約2294万人、タウンで約1億5938万人となっています。これだけのお客さまに来ていただいているのは本当にあり難いですね。

――訪日外国人旅行者は年々増えていますが、区の方はいかがですか。

山本　確実に増えていますね。浅草から東京スカイツリーの間に区役所があるのですが、外国人の姿が結構目立ちます。先ほども言いましたが、区には江戸文化がたくさん残っており、日本の文化に触れてみたいと思う外国人にとっては魅力ある土地ではないかと思います。区のまちづくりの基本は「暮らし続けたいまち」「働き続けたいまち」のほかに、「訪れてみたいまち」を掲げています。外国人の方に向けた案内表示もどんどん整備してきています。

――東京スカイツリーの外国人比率はどうなっていますか。

酒見　2割ほどを占めており、国・地域別では中国、台湾、米国、韓国の順で多いですね。アジアでの知名度はそれなりにありますが、欧米ではいまひとつといったところです。これまで、アジアを中心に旅行博に出展したり、広告展開してきたので仕方がない面もありますが…。欧米でのプロモーションは課題の一つです。

墨田区観光特集

観光・芸術施設のイベント

スカイツリータウン

11ドリームXmas 11月10日スタート

東京スカイツリータウンで11月10日から12月25日まで、「ドリームクリスマス2016」が開催される。今年のテーマは「ハートにつながるクリスマス」で、東京スカイツリーを世界一高いクリスマスツリーに見立てた限定ライティングなどで飾り、冬の夜を彩る。

限定ライティングはクリスマスツリーに見立てた「シャンパンツリー」とキャンドルに見立てた「キャンドルツリー」の2種類となる。

東京スカイツリーの足元にあるスカイアリーナには、タワーの高さにちなんだ6・34㍍のクリスマスツリー「634ツリー」が登場。タウン内各所で温かみのある約40万球のキャンドルカラーイルミネーションも点灯する。

東京スカイツリー塔体下部をメインスクリーンに見立てたプロジェクションマッピングを初めて実施する。クリスマスらしい音楽に合わせて映像が動き出し、東京スカイツリーならではのプロジェクションマッピングを楽しめる。

昨年のクリスマス限定ライティングとクリスマスツリー

来年1月1日に初日の出営業を

8882人限定

東京スカイツリータウンは年末年始、営業時間の一部を変更し、東京スカイツリーの初日の出特別営業や早朝営業などを実施する。

初日の出特別営業は来年1月1日、8882人限定で東京スカイツリー展望台から初日の出を見てもらう企画。入場券はインターネットや東武トップツアーズの旅行商品などを通じて販売する。ネット抽選販売の場合、価格は7千円となっている。

また、1月1、2、3日は初詣などと合わせてより多くの人に新年の眺望を楽しんでもらえるよう営業時間を早める。1日は午前7時半から、2、3日は同7時から。

昨年のイルミネーション

すみだ北斎美術館

11月22日から開館記念展

すみだ北斎美術館はオープン日の11月22日から2017年1月15日まで、開館記念展「北斎の帰還―幻の絵巻と名品コレクション」を開催する。

見どころの一つは、海外に流出しており今日まで100年余全く行方の知られていなかったものの、15年に墨田区が取得し、海外から里帰りした長さ約7㍍の幻の絵巻「隅田川両岸景色図巻」を全巻一挙に初公開することだ。

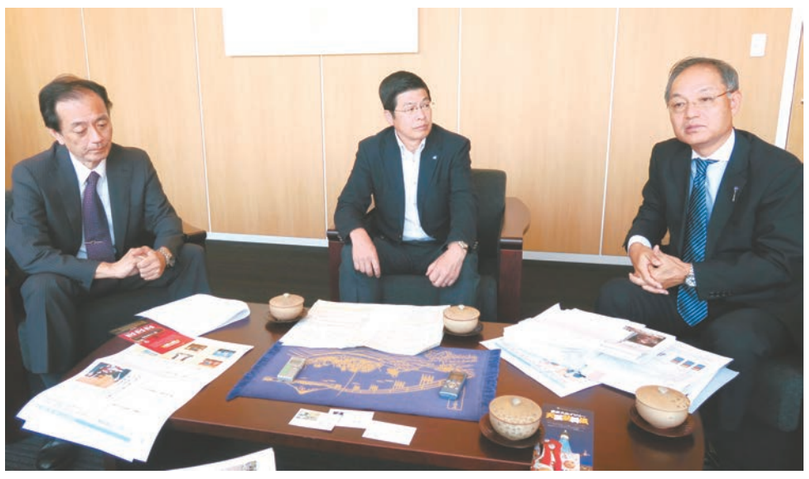
同絵巻は両国橋から山谷堀あたりまでの隅田川両岸の景色が洋風の陰影法を交えた表現で、そして新吉原の遊興の様子が細緻な筆使いで描かれている。

また、区所蔵の数々の名品・優品の中から、北斎の肉筆画、版画、摺物、版本など約130点を一堂に展示する。

会期は前期が11月22日～12月18日、後期が12月20日～1月15日。開館時間は午前9時半～午後5時半。観覧料は一般が1200円、団体（20人以上）960円となっている。

力合わせ墨田観光のレベルアップを

外客対応もしっかり 菊田氏
国際文化観光都市に 山本氏
リピーター確保に力 酒見氏



――リピーターについてはいかがですか。

酒見　東京スカイツリーの展望台から見る景色は季節や時間帯によって大きく変わります。例えば、1～3月は閑散期なのですが、むしろこの時期の方が眺めがいい。富士山が見える確率もグッと上がります。こういうところをもっとアピールし、二度、三度と足を運んでもらう必要があります。

■　■

――北斎の絵は外国人にも人気です。美術館を訪れる外国人も増えそうですね。

菊田　不便をかけないようしっかり対応していきたい。まずは英語での案内からはじめ、徐々に充実させていく。国技館の近くに大型ホテルが建つとも聞いており、そうなれば外国人客も飛躍的に増えそうです。

■　■

――2020年の東京オリンピック・パラリンピックには多くの外国人が日本を訪れそうです。区としても期待は大きいですか。

山本　国技館でボクシング競技が行われる予定で、それは大いに期待しますよ。日本らしさを感じることができるのはまさしく墨田区であり、区の魅力をアピールする絶好の機会と捉えています。

隅田川、荒川をはじめ、横十間川や北十間川など隅田区は川に囲まれたまちです。川辺を観光スポットとして整備し、にぎわいを創出する。つまり、「水都すみだ」で観光客のハートをつかむ。現在、川を遊覧する舟運体験もできますが、川辺をきちんと整備することによって、新たな観光資源にしたいと考えています。

また、子どもを含めた区民全員がおもてなしの気持ちで外国人を迎えられるような体制も確立したい。もともと下町の人は人情味が厚く、英語などになじむ機会を作れば、おもてなしの精度がグッとアップすると思います。

菊田　美術館にとっては追い風となります。何といっても次期パスポートの基本デザインは北斎の「冨嶽三十六景」ですからね（笑い）。北斎に特化した美術館ですが、枠を広げ、北斎に関わるさまざまな作品や資料も公開しながらターゲットです。最近の修学旅行は5～6人の小グループでの移動が多く、当館にとっても適正規模だと思います。世界的な絵師である北斎を知ってもらい、日本の芸術文化の素晴らしさを理解してほしいと思います。

酒見　外国人と並んで、修学旅行生はメインターゲットの一つです。区と観光協会と連携して観光素材集「本物が生きる街　すみだ」を地方の話題作りに努めたい。

酒見　先のリオオリンピック・パラリンピックの期間中、特別ライティングを点灯し、盛り上げに一役買いました。東京オリンピック・パラリンピック時にも東京スカイツリーならではのアイデアで協力したいと思います。外国人の目に留まり、足を運んでもらうきっかけになればいい。

――団体客である修学旅行の取り込みも重要ですね。

菊田　もちろん重要なターゲットです。最近の修学旅行は5～6人の小グループでの移動が多く、当館にとっても適正規模だと思います。世界的な絵師である北斎を知ってもらい、日本の芸術文化の素晴らしさを理解してほしいと思います。

酒見　外国人と並んで、修学旅行生はメインターゲットの一つです。区と観光協会と連携して観光素材集「本物が生きる街　すみだ」を地方の旅行代理店や校長会などで配り、アピールしています。

――修学旅行は平和学習がポイントの一つになっていますね。

酒見　太平洋戦争時の1945年3月に東京の下町地区一帯がアメリカ軍の爆撃により、区を中心に10万人以上の尊い命が奪われました。いわゆる東京大空襲です。区には東京都慰霊堂をはじめ、戦災の史跡や供養塔が数多く残っており、戦争を体験された方が語り部となって当時の体験を伝えています。平和学習もできる地区としてもっとアピールしていく必要性も感じています。

■　■

――区にとって東京スカイツリーの開業効果はとても大きいのでしょうね。

山本　昭和30年代に高度成長期を迎え、38年に区の人口は32万6千人とピークを迎えました。以降、人口は減少していましたが、東京スカイツリーができたことで増加に転じました。現在では約26万5千人となっています。

観光客の増加はもちろん、観光で訪れた人が墨田の魅力、モノづくりの素晴らしさに触れ、墨田に住んでみたい、モノづくりに携わりたいという人も出てきています。観光と産業の融合という新しい動き、これもスカイツリー効果ですね。

酒見　先ほどもいいましたが、東京スカイツリーだけでお客さまを呼ぶことは限界があります。すみだ北斎美術館という強力な観光コンテンツができたことは大変心強い。両者の強みを生かし、この地に観光客の関心が向くような仕掛けを考えていきたい。

――東京スカイツリーにさまざまな芸術施設、そして川。何となくパリの街並みを連想させます。

酒見　東京スカイツリーとエッフェル塔、北斎美術館とルーブル美術館、墨田川とセーヌ河…。ロケーションがとてもよく似ていますね。世界一の高さはドバイのブルジュ・ハリファ（高さ828㍍）に譲りますが、東京スカイツリーは「世界一愛されるタワー」を目指します。

山本　パリの街並みは区のまちづくりの参考になりそうです（笑い）。

菊田　修学旅行で来た子どもたちが東京スカイツリーやすみだ北斎美術館などを見て感動し、「とても良かった」と口コミで広がれば。人を引き寄せる施設にしたい。

山本　すみだ北斎美術館に続き、来年には両国公会堂跡地に「刀剣博物館」ができる予定です。ますます観光コンテンツが充実します。皆さんと手を携えて、国際文化観光都市の実現にまい進したいと思います。